



# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」Peace Through Service

2012-13年度 RI会長／田中作次    RI.D2590ガバナー／露木雄二    横浜旭RC会長／山崎良三

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F  
TEL.045-365-3273  
FAX.045-365-3132  
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp  
〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン  
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



2012年10月10日 第2075回例会 VOL. 44 No. 14

- 司会 SAA 田川 富男
- 開会点鐘 会長 山崎 良三
- 斉唱 我等の生業  
SL 市川 慎二

### ■出席報告

会員数	35名	本日の出席数	29名
本日の出席率	93.55%	修正出席率	100%

### ■本日の欠席者

倉本、松本

### ■他クラブ出席者

五十嵐、新川（地区）

### ■ゲスト

島田 勝一様

（コココーラセントラルジャパン常務執行役員）

### ■恵送を受けた週報

横浜瀬谷 RC

### ■10月誕生記念祝い



漆原恵利子会員 10.31

吉原 則光会員 10.19

### ■会長報告

今日は10月10日という事で昔は体育の日で有りましたが、この頃は転倒に気を付ける日、銭湯の日等様変わりしてまいりました。10月ともなりますと、さすがに季節も少し過ぎ易く成りました。日光でも8日に例年より10日も遅く霜が降りました。今年は秋を短く感じそうです。今月のクラブの活動は、21日の旭区民祭りが有ります。担当の委員の皆様には忙しい思いをして頂き大変だとは思いますがよろしくお願ひします。又、震災復興支援部会の方々にもお手数を掛けますが頑張りたいと思います。いうまでもなく会員全体で応援し無事に活動が終われば良いなと思っています。

次に地区の活動も2,3盛り込まれていまして先週5日にはホストクラブの瀬谷ロータリークラブの音頭で地区大会準備委員会が開かれ、いよいよ12日には記念ディナーパーティを、15日にはチャリティゴルフが開かれます。6名で参加して参ります。

### ○地区関係

#### 1) RYLA 参加申し込み

新世代奉仕委員長漆原さん推薦の峯宇卓巳さん23歳、阿部陽太郎さん22歳の2名を推薦承認いたします。

#### 2) 山元町ふれあい産業祭りに参加し復興支援を考える

テーマ 奉仕を通じて平和を心を一つに！

日程 11月22日～24日の2泊3日

3) クラブ雑誌委員長会議  
 日時 11月1日(木) 午後3時～5時  
 場所 メモワールプラザソシア 21  
 4F ウイング

4) クラブ奉仕委員長会議  
 日時 11月22日(木)  
 場所 メモワールプラザソシア 21

5) 横浜あざみロータリークラブより  
 8クラブ合同例会開催について  
 日時: 2013年1月30日午後6時30分  
 場所 新横浜国際ホテル

○クラブ関係

- 1) 文化祭バザー品提供協力願い  
 担当 漆原会員
- 2) 旭区観光協会から 畠山重忠公特別展  
 日時 10月13日～11月25日  
 場所 横浜市歴史博物館  
 都筑区中川中央 1-18-1

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ  
 ○横浜緑ロータリークラブ  
 日時 10月17日(水)→17日～18日 泊2日  
 職場見学会

場所 アジア物性材料 磐城工場  
 日時 10月31日(水)→夜間例会  
 点鐘 午後6時30分

場所 リストランテ アッティモ  
 ○横浜あざみロータリークラブ  
 日時 10月24日(水)移動例会  
 点鐘 午前11時30分

場所 アートフォーラムあざみ野  
 ○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ  
 日時 10月23日(火)→一泊移動例会  
 被災地福島視察研修旅行

場所 吹の湯旅館  
 いわき市常磐湯本町吹谷 48  
 TEL 0246-42-2158

■第7回理事役員会議事録

日時 10月3日(水)午後6時30分  
 場所 クラブ事務所  
 出席者(敬称略)  
 山崎、安藤公一、佐藤、後藤、福村、漆原、新川、  
 倉本、今野、青木  
 欠席者 斎藤、内田

○報告事項

- 1) 10月予定  
 ・10/15(月)記念チャリティーゴルフ  
 程ヶ谷 CC

- ・10/19(金)ナイター川崎
- ・10/21(日)区民まつり メーキャップ扱い  
 9時集合
- ・10/25(木)旭高校職業講話
- ・11/7(水)クラブ協議会  
 ガバナー補佐より、計画書の朗読でなく、  
 委員長の思いを発表戴きたいとの申し出
- ・11/9～10 地区大会 パシフィコ横浜  
 メーキャップ扱い
- ・11/21(水)ガバナー訪問

2) ボーイスカウトへ寄付 10,000円

○審議事項

- 1) 松本新会員の所属委員会  
 出席と親睦
- 2) タウンニュース区民まつり広告の件  
 21,000円 承認

\*次年度からは広告費は、年始、暑中見舞い、  
 区民まつりのみとして予算化が望ましい

- 3) 入会式について  
 威厳のある思い出に残る入会式の実施

■国際奉仕委員会 新川 尚

- (1) 本年度 国際奉仕活動を計画しているか?  
 ・している(検討も含む) : 39 (63%)  
 ・していない : 23 (37%)

(2) 本年度 国際奉仕活動の件数及び分類

① 件数 : 66

② 分類 :

分類	件数	%	備考
教育支援(教)	19	29	
里親支援(里)	11	17	孤児院支援、物資の援助を含む
姉妹クラブ交流(姉)	9	14	姉妹クラブとの共同事業は除く
団体への寄付(団)	8	12	RCへの寄付、事業に参加するものは除く
在日外国人との交流	6	9	在日外国人に関するものは全て含む
医療支援(医)	5	8	
環境支援(環)	3	4	
天災支援(天)	2	3	
その他	3	4	
計	66	100	

(3) 本年度、国際奉仕活動の計画が無いクラブの理由について (16クラブ回答)

- 予算の問題 (5クラブ)  
 現地へ行く費用、寄付金等経費がかかる為。少人数のクラブで予算なし。会員減少の為。
- 情報が少なく、コネクションも無い。(4クラブ)  
 クラブでは案件が見つからない、良い案件があれば、協力したい。具体的計画が無い。地区方針に協力する。具体的な国際奉仕活動のコネクションも無く、計画が立てづらい。
- R財団、米山奨学金、GSEへ協力している為。(3クラブ)  
 R財団、米山奨学金の目標達成に協力している。
- クラブの事情 (4クラブ)  
 50周年事業に注力したい為。委員長の突然の退会のため。クラブ独自で日本人学生に奨学金支援をしている為。

(4) 他クラブのプロジェクトで、意義のあるものには参加したいか?

- ※ 既に活動しているクラブも含む。
- ・参加したい : 11 (18%)
  - ・参加したくない : 37 (60%)
  - ・未回答 : 14 (22%)

## ■ニコニコ BOX(会員敬称略)

山崎 良三／コカコーラセントラルジャパンの島田勝一様、本日はお忙しい中、卓話をどうぞよろしくお願い致します。

青木 邦弘／島田さんようこそ。卓話楽しみにしています。

吉原 則光／①島田様、ご多用のところ卓話いただき有り難うございます。楽しく拝聴させていただきます。②大谷さん、隼人高校野球部、県大会準優勝おめでとうございます。関東大会の活躍が楽しみです。

千葉 和裕／皆様、岩沼のメロンの件では、ご協力有難うございました。

矢田 昭一／漆原さん、先週の例会日に全員に秋の味覚の栗をおすそ分けくださり感謝。私は帰園後、早速職員共々あなたの暖かいお心遣いに舌つづみを打ちました。有難う。

安藤 公一／島田様、卓話よろしくお祈いします。

新川 尚／島田様、本日は宜しくお祈いします。

大谷 蓉子／漆原さん、おいしい栗をごちそうさまでした。

関口 友宏／斎藤さんのご好意で、海上自衛隊の観艦式を見てきました。ありがとうございます。

漆原恵利子／①島田さん、ようこそ。②誕生日プレゼントありがとうございます。

田川 富男／スカッとさわやかコカコーラ。島田様ようこそ、今日は宜しくお祈い致します。

後藤 英則／島田勝一様ようこそ。本日の卓話楽し味にしています。

小嶋 宏樹／①島田さん、ようこそ。卓話楽しみです。②漆原さん、栗美味しかったです。

③大谷さん、一緒に甲子園に行きましょう！  
今野 丁三／海上自衛隊の観艦式(事前公開)楽しく見学できました。斎藤さん有難うございました。

## ■卓話

○卓話者紹介 後藤 英則

コカコーラセントラルジャパン株式会社元常務執行役員島田勝一さんをご紹介します。島田さんとは中学生時代ハンドボール部員として共に練習に励み、試合では勝ったと喜び、負けたと云っては悔し涙したチームメイトでした。そんな島田さんに卓話していただくのは、自分が話す時よりも何だかドキドキ

してしまいます。それでは本日の卓話宜しくお願いします。

コカコーラのサステナビリティ戦略  
(持続的成長)

島田 勝一



こんにちは、コカ・コーラ セントラル ジャパンの島田でございます。

現在は、顧問という立場で、アドバイザーを務めさせていただいております。

本日は、コカ・コーラというビジネスに40年間働いてまいりましたので「コカ・コーラ」という「ビジネス」、また、この経験についてお話させていただきたいと存じます。

とりわけ、2000年から12年間担当いたしました。広報、またCSRについてお話できればと考えております。宜しくお願い申し上げます。

まずは、コカ・コーラのお話をさせていただく前に、皆様の「職業奉仕」と関連のあるお話をさせていただきます。

この「職業奉仕」の精神は、現代的な解釈、またキーワードとしては、「CSR・企業の社会的責任」、「サステナビリティ・持続可能性」また「サステナビリティ・グロース＝持続成長の可能性」として取り組まれていると考えております。

この精神は、決して新しい考え方ではないと思います。資料によりますと、世界に200年以上の歴史を持ち、継続されている企業・商売は7,000と云われております。その中で我が国では、その4割に当たる3,000の企業・商売があると云われております。

世界最古の企業は、大阪市天王寺で建築工事業を営む「金剛組」とされ、創業は飛鳥時代より前の古墳時代、西暦578年、1432年継続されていると記されておりました。

神奈川県トップは、小田原の「株式会社ういろう」。創業は、室町時代、西暦1368年、

642年継続されているとのことをごさいます。

ちなみに、日本で500年を超えた企業は、温泉旅館、清酒メーカーに混じり松坂屋、竹中工務店、お菓子の「虎屋」など39社、100年を超えた企業は、22,000社とのことをごさいます。

さて、200年前、1810年、我が横浜は、横浜開港151年ですから、横浜村が漁村であった時代です。今から200年前の1810年は、江戸の末期・文化7年…11代将軍、徳川家斉（いえなり）の時代でありました。将軍自身が退廃的な生活を送ったため（側室は40人で歴代1位、2位は家康の16人）、締め付けが緩く町人文化が顕著に発展したようです。娯楽…「芝居小屋」、「見世物小屋」、「縁日」、美術…「浮世絵」、芸能…「歌舞伎」が最も盛んな時代でありました。

また、欧米では、イギリスで蒸気機関車、蒸気船が実用化され、産業革命の20年前（1830年）、アメリカ独立34年目（1776年独立）、自動車誕生76年前（ベンツの製造開始は1886年）、近代と中世の境目であったようです。このような時代から、大きな変化を乗り越え、今も生き続ける企業・商売は、経営と云う観点で時代を超えられる「理念」や「リーダーの志」、「心構え」があったように思います。皆さんご承知と存じますが、日本でも近江商人の姿勢として、「売り手良し」「買い手良し」「世の中良し」の精神がビジネスの「社会的責任」を果たす。また「持続的成長」の大切な要件であることを伝えております。

2001年、米国のエンロン社は、巨額の不正経理・不正取引が行なわれた事実が明らかになり、米国史上最大と云われた総額5兆円という負債を残して破綻致しました。当時それから会計不祥事が相次ぎ、アメリカではその反省と企業改革のため法律「SOX法」が施行され、企業の皆さまがご苦労された「内部統制」の導入のきっかけとなりました。日本に於いても、2001年6月雪印乳業事件に端を発し、多くの企業が「企業の社会的責任」を追及されビジネスの後退、また企業が存続できない状況に追い遣られたことは記憶に新しいことと思います。

そのような意味で、この2001年は、冒頭申し上げました本会（ロータリークラブ）の精神「職業奉仕」、「CSR・企業の社会的責任」、「サ

ステイナビリティ・持続可能性」に関する視点、行動が企業家に再び問われたきっかけとなりました。

世の中、社会、生活者の意識は常に変化を続けております。過去は「世の中で必要とされた」しかし、今、将来、必要とされ続けるか？変化する社会、ステークホルダーからの様々な要請、必要性が衰退すれば、存在意義も薄れ、ビジネスとしてステージからの降壇とう事態となります。

そこで、「コカ・コーラ」というビジネスについてお話をさせていただきます。

誕生は、1886年、アメリカ・ジョージア州・アトランタであります。薬剤師、ジョン・S・ペンバートン博士、そして、「コカ・コーラ」が、社会とともに成長し続けていくことを目指してグローバル（地球規模）で、またローカル（地域）で展開する取り組みをお話させていただきます。

「コカ・コーラビジネス」にとって200年は、まだまだですが、1886年、アメリカ、ジョージア州、アトランタで誕生したビジネスで、今年で126年を迎えました。

お蔭様をもちまして確実な成長を遂げ、現在、200ヶ国で、毎日16億杯のご愛飲を頂いております。

これは、商品が美味しい、手に入れ易い、CMが上手い…だけでは、企業として生き延びることは出来なかったと思います。

また昨年、米国のコンサルタント会社「インターブランド」が発表致しました企業・商品価値を評価する「ブランド価値ランキング」では15年連続、世界一位の評価を頂きました。今までのコカ・コーラが展開した活動を評価頂けたものと思いますが、更なる持続的成長を目指し、昨年3月、コカ・コーラ本社は全世界に向けて、当面の目標「ビジョン2020」を発表し、ローカル（地域）と連動しながら、ビジネスの社会的存在意義を認識し、企業と社会の持続的成長を目指すこととなりました。

スローガンは「リブポジティブリー」、日本語訳は「世界をプラスに回そう！」となっております。この日本語訳は、個人的には多少、違和感を持っておりますが…。

「ビジョン2020」は4つの具体的な活動領域、市場、職場、社会、環境に分かれております。一番目は市場活動…

1) 本業の市場活動として、市場のニーズに合わせた商品開発と展開を目指します。

日本では年間に約 1,000 種の飲料が新発売されます。当社もこのエリア(神奈川)でパッケージが異なるものも合わせると 300 種の新商品を展開し、消費者の審判を仰いでおります。

2) 職場活動としては、働き甲斐のある職場を目指します。

従業員の働き甲斐、モチベーションは、各種活動に大きな影響があり、従業員は重要なステークホルダーと位置づけております。

3) 社会活動としては、イベントや支援活動を通じて、生活者が健康で文化的な生活の実現に寄与することを目指します。

コカ・コーラは、アフリカでは井戸を提供し、中国では学校の校舎を提供する活動を展開するなど、地域毎に活動は異なり、日本では「コカ・コーラ教育環境財団」により環境分野、スポーツ分野の教育者育成。また、奨学金制度により教育機会の提供支援を行っております。トピックスとしては「コカ・コーラ教育環境財団」の活動として 2009 年、北海道・夕張に廃校となった小学校を宿泊可能な施設に改修し、環境教育の指導者を育成する「コカ・コーラ環境ハウス」を設立し、環境教育の支援を開始しました。

4) 4つの分野の最後は、「地球に良いことは、ビジネスに良い」との考えで、環境活動として、水資源保護・温暖化防止、エネルギー削減、持続可能なパッケージ展開、各分野において地球規模で環境を保全する取り組みを行うこととしております。

いずれの活動も大きな投資が必要となり、持続的成長の実現を可能にする確実なマネジメントサイクルが必要となります。

マネジメントサイクルとしては、実行→企業評価の向上→利益の確保→社会・ビジネスへの再投資のサイクルで運営管理をしております。コカ・コーラビジネスは、200 年生き残れる企業集団になるべく、イノベーションを継続していかなければなりません。

さて、グローバルでは申し上げた通りですが、日本では上陸 53 年目を迎えました。まだまだ新参者ですが、現在の日本の状況をお話させて頂くと、25 の商品ブランド、1 つの商品は幾つかのパッケージで販売されておりますので製造品種としては 850、会社の数は、

北海道から沖縄まで 12 のボトラーで地域密着型企業として展開、29 工場、98 万台の自動販売機(日本全体の約 1/3)、113 万店とのお取引、466 の営業所、23,000 人の従業員…の規模で展開し、売上高は 1 兆円強となっております。

では、ご当地を担当させて頂いておりますコカ・コーラ セントラルジャパンの活動を紹介させて頂きます。まずは「企業理念」でございます。大きく 3 つ。

1) お客さまに商品の安全をお約束し、爽やかさと満足をお届けします。

2) 株主、従業員の期待に応え、企業価値を高めます。

3) 地域社会に貢献し、環境の持続的な改善に努め、良き企業市民を目指します。

いずれも「CSR」即ち企業の社会的責任を網羅しております。

そして当社は、「経済的価値の追求だけでは、持続的な成長は望めない」との考えで CSR 推進の専門部署を置き CSR を推進しております。勿論、企業は利益を出し続けなければ生き続けられない。(利益を上げて納税、従業員の雇用を維持する義務は果たすこと大前提となりますが…)

当社の CSR は、これから申し上げる「コンプライアンス」「製品の安全保障」「地域貢献」「環境保全」に関する 4 つの方針を掲げ、必要な投資と活動を展開しております。

1) コンプライアンスは、法律を遵守することは無論、変化する社会の要請に応えることを目指し「社員行動規範」として要求事項と禁止事項を決め教育を行っており、推進体制としてコンプライアンス責任者を各場所に設置しております。

2) 製品の安全保障は、当社の社会的責任の最重要項目であり、不良品 0 を目指して活動しております。また、万が一の製品事故による被害を最小限に留めるべく、お客様から頂く「ご指摘」をデータベース化し被害の最小化と再発防止に努めております。

3) 環境保全については、グローバル方針に基づく活動を展開し、環境マネジメントシステム ISO14001 は 1998 年業界初の認証取得を行い、現在 63 の全事業所で展開しております。

神奈川県に於いては宮が瀬のダム湖周辺で、毎年 100 名規模で小学生と父兄を対象に「環境教育実践講座・森に学ぼうプロジェクト」を実施しております。



4) 社会貢献は当社設立以来のイベントも多く、少年サッカー、家庭婦人バレー大会は40年の歴史を持つ地域に根ざした活動となっております。その他にもスポーツ、文化活動、奨学金制度、肢体不自由者支援等…多くの活動を行っております。

当社のCSR活動の4本柱「コンプライアンス」「製品の安全保障」「社会貢献」「環境保全」の推進には投資が必要となります。

特に環境保全については、本業を通じて最も投資額の大きい「自動販売機」に対する環境負荷低減の取り組みを紹介させていただきます。

自販機については、我々のビジネスでは重要な取り組みで、全国で98万台と申し上げましたが、当社の担当する6県下では12万台を展開し当社の売上数量の23%、利益という観点では貢献利益の約50%を占めております。

また、年間の設備投資の50%、本年の計画では、新規設置分、既存機の入れ替えを含めると8,500台を購入し39億の投資となります。

当然ながら、環境負荷を低減する自販機はそうでない仕様のモノと比べると20%から2倍のコスト増となります。

まずはグローバルの方針に従い…

① 2005年からノンフロン仕様機器の展開を開始、2020年までには市場で展開する全ての自販機、クラーの切り替えを完了する予定。

② 1995年から省エネタイプに切り替え、(ヒートポンプ機能搭載、LED照明、他により電気使用量1991年比1/2)

③ 太陽光を利用するソーラーパネル搭載機についても展開開始致しました。まだ17台ですが、将来は増やしていく予定です。このホテル近くにも設置されておりますのでご覧ください。

④ 災害対応型自動販売機は、行政施設や人の集まる場所に設置を促進しており、災害時はメッセージボードから災害情報や避難情報を提供するメッセージを発信する機能を搭載し、災害時に周辺で被災された方をサポートさせて頂く予定です。

また、この自販機は災害時に遠隔操作により自販機内の飲料を無償提供することも可能です。当社エリアでは、既に1,135台が設置され、神奈川県下では369台が展開されております。

この活動により社会へのビジネスによる環境負荷の大幅な低減を目指しております。

物流部門については、ハイブリッドトラック、天然ガス自動車を積極的に導入しています。

また、先ほど申し上げました「製品の安全保障」を推進する為に、商品に関するご指摘管理システムとして、全てのご指摘はデータベース化し、同一工場、同一ライン、同一商品に2件以上のご指摘が発生するとアラームが鳴り、即座に原因究明が行なわれる仕組みが展開されております。

お客様から、「コカ・コーラの値引きの条件は厳しい」「100円自販機があるのに120円は高い」とのご意見は伺っております。

本日、お話をさせて頂いたCSRの推進活動、とりわけ「地球の将来、環境保全に配慮した自販機」「製品の安全保障」等への投資を積極的に行う企業とそうでない企業は、「コスト構造」が異なります。短期的な利益を追わず、社会と共に「共存共栄」「持続的成長」を目指す活動も含めご理解頂きたいと存じます。

リーダーの職業奉仕の精神により「社会から信頼され、愛され、必要とされ続ける活動が、企業の持続的成長と、社会の健全な発展を実現する。」こんな考えの上で「コカ・コーラ」が、2020年を超え、200年存続できる企業を目指して活動を展開したいと考えております。ご理解とご支援を賜れば幸いです。

なお、弊社のCSR活動に関するレポートはホームページでも開示させて頂いておりますので、ご高覧の上、忌憚のないご意見、ご指導を賜れば幸いです。

さて、最後に先人に学べ!ということで三人の先人のメッセージを紹介させていただきます。

1) まずは、ギリシャの哲学者ソクラテス、約2000年前からのメッセージです

・倫理は、人を幸せにする。

2) 次に神奈川県小田原から二宮尊徳です。

・道徳無き経済は、悪徳。  
経済無き道徳は、戯言。

3) 最後に200年前イギリス、チャールズ・ダーウィンの「種の起源」記されたメッセージです。

・強い者、大きい者が生き残れるのではない。  
変化に対応出来た者だけが生き残れる。  
ご清聴ありがとうございました。

■次週の卓話

水谷 哲也殿

(横浜隼人高校硬式野球部監督)

週報担当 五十嵐 正